

居宅介護支援事業所管理者向けマネジメント支援研修 カリキュラム一覧

区分	大項目	科目名	内容及び習得目標	講師（所属等）	時間（分）
1	職員の採用・指導支援に係る取組	居宅介護支援事業所の管理者としての理念について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 居宅介護支援事業者の管理者の役割や責務を理解することができる。 ○ 管理者が求める介護支援専門員像を介護支援専門員の価値、知識、方法・技術の観点から理解することができる。 ○ 離職問題を介して、管理職が職場環境を整える方法を考えることができる。 ○ 管理者に求められる能力を確認する。 	白澤 政和 氏 国際医療福祉大学大学院 教授 博士（社会学）	80
		職員の採用・定着に向けた取組について（OJT）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 業務管理の手法を理解することができる。 ○ 職員採用及び定着のための方法を理解することができる。 ○ ダイバーシティを理解することができる。 ○ 効率的な働き方、労務、福利厚生について理解することができる。 ○ 働きやすい職場環境を整える方法を考えることができる。 ○ 介護支援専門員のキャリア形成について考えることができる。 	白木 裕子 氏 日本ケアマネジメント学会 副理事長 株式会社フジケア 取締役社長	90
		ICTやテレワーク・ネットワークの活用等	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICT等を活用した業務の効率化や業務負担の軽減、ケアマネジメントの質の向上について考えることができる。 ○ テレワーク等の多様な働き方を理解した上で、導入に必要な環境や注意点についても理解することができる。 	米澤 麻子 氏 株式会社NTTデータ経営研究所 パートナー	60
2	職員を守り・育てる取組	ハラスメント対策	<ul style="list-style-type: none"> ○ ハラスメントの種類（スタッフ間等職場内、利用者等の職場外）、特徴、心身に与える影響を理解することができる。 ○ ハラスメント対策を考えることができる（居宅介護支援事業所の管理者が押さえておきたいポイント）。 	稲葉 一人 氏 いなば法律事務所 代表弁護士 日本臨床倫理学会 副理事長	30
		職員のメンタルヘルス	<ul style="list-style-type: none"> ○ メンタルヘルス対策の重要性を理解することができる。 ○ ストレスへの備え（予防）を理解することができる。 ○ ケアスタッフのストレスサインを理解することができる。 ○ ストレス対処方法、ストレス状況を乗り越えるコツをつかむことができる。 ○ ストレスの少ない職場環境を整える方法を考えることができる。 ○ メンタルヘルス不調者を見落とさないための適切な対応を理解することができる。 ○ 医療が必要なメンタルヘルス不調者を見落とさないための適切な対応を理解することができる。 ○ 休職から職場復帰までの支援の流れを理解することができる。 	平川 博之 氏 ひらかわクリニック 院長 東京都医師会 副会長	30
		事例から考える臨床倫理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護における倫理に関連する臨床上の事例を指摘することができる。 ○ 医療における倫理との、同じ点・違う点を指摘することができる。 ○ 倫理的ジレンマの解消するための、「気づき」「4原則」を理解し、「4分割」を使うことができる。 ○ 介護支援専門員の業務上の職責と居宅介護支援事業所の服務規定を理解することができる。 ○ 関連する訴訟例を理解することができる。 	稲葉 一人 氏 いなば法律事務所 代表弁護士 日本臨床倫理学会 副理事長	60
3	地域と共に歩む魅力ある職場づくり	職員のモチベーション維持・向上に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ○ メンタルヘルス対策としてのモチベーション向上とワーク・エンゲイジメントの考え方を説明することができる。 ○ 介護支援専門員のワーク・エンゲイジメントに基づいた職員・事業所・地域に対する事業所運営の視点について説明することができる。 ○ ワーク・エンゲイジメントを高めるための事業所運営の具体的な方法を理解し、自らの事業所運営に活かすことができる。 	畑 亮輔 氏 北星学園大学 准教授	50
		多職種連携の技術を高める管理者のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様化・複雑化する利用者の課題を解決するアプローチとして、多職種連携の必要性を理解することができる。 ○ IPW/IPEという考え方を知り、その手法を習得する。 ○ 多職種連携に必要な様々なコンピテンシーを理解し、実践につなげることができる。 ○ 総じて言えば、地域と共に歩む魅力ある職場づくりとして、多職種・多機関連携の理論を知り、その手法を習得する。 	鶴岡 浩樹 氏 日本社会事業大学大学院 教授 つるかめ診療所 副所長	40
4	事業所の経営について	事業計画の立案から事業所の方針を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 制度への理解、事業所の体制整備を理解することができる。 ○ 実践の場における様々な加算・減算について理解することができる。 ○ 逡減制について理解することができる。 ○ 介護報酬における加算・減算について理解することができる。 	白木 裕子 氏 日本ケアマネジメント学会 副理事長 株式会社フジケア 取締役社長	40